

<公立岩瀬病院附属高等看護学院>(福島県) 2017.12.20.

対象:看護学生・教職員

一年生
今回の講演の話がとても心に残りました。ありがとうございました。
私も一生半人前を自覚し、生涯のうちで何か成してみたいと思うようになりました。ありがとうございました。
今生きているこの時間を大事にし、自分が気になったことに挑戦する気持ちを忘れないようにしたいと思いました。
手術は「準備がすべて」で、手術中にご家族が手術室に入るのが驚きました。すぐくたくなる話ばかりでした。ありがとうございました。
分かりやすい例やマンガのセリフを使っただけの講演だったので、最後まで楽しく聞く事ができました。また、皮膚科の多くの事が知れて良かったです。
今日の講演をこれからの学習に活かして行きたいです。そして、自分が成長して行けるように、学習が出来ないではなく出来るように方法を見つけて行きたいと思いました。
私が看護師になった時、自分は本当に患者さんに医療を提供できか少し不安な面もありますが、努力して、人間性を磨き、経験を積んでいきたいと思ひます。貴重な時間を頂きありがとうございました。
治療をして行く中で、「型」や「概念」にとらわれず、マニュアル通りではなく、患者一人一人に合った治療法をしていくことが大事なのだと思います。「能力と人間性は釣り合わない」という言葉にはとても共感しました。
例が分かりやすく、なるほどと思った。小さな変化を見逃さない大切さが分かった。実習でたくさん積極的に動かなくてはならないと思った。自分が行き詰った時は、「桜」を見て、陰の努力を思い出していこうと思った。
私は今回のお話で一番勉強になったことは、患者さんや御家族は「完治」よりも「納得」したいと思ひていることです。そのために、人間性を身に付けて高めていきたいし、責任感を持ち、すぐ無理をしていきたいと思ひます。
患者さんやその家族に笑顔が増えることは嬉しいと思ひ、遣り甲斐を感じられると思ひます。最初から諦めるのではなく、何事も無理して頑張ることが大事だと学びました。これから、たくさん経験を重ね立派な看護師を目指していきたいです。
とても貴重な話を聞けてとてもためになりました。医療の現場だけでなく、人生の生き方としてとても参考になる言葉が多くてとても面白かったです。臨床は…人格と人格のぶつかり合い、という言葉がとても印象に残りました。とても良い話を聞けて本当にありがとうございました。
今日の講演を聞いて、分かりやすい言葉や、イラスト・写真が多く使われていたので、理解しやすく、とてもためになりました。私も先生のように、何事にも真剣に向き合い、自分が何をすべきかを考えて、実行できるようにしたいと思ひました。そして、失敗しても何度でも学び続けて行きたいと思ひます。

漫画やスポーツ選手の言葉を引用され、先生の解釈が分かりやすく、楽しく講演を聞かせて頂きました。信念を持って、一人でも頑張っている先生の姿に深い感銘を受けました。「一生半人前」を心に留め、常に学ぶ姿勢を持って、医療人としての伸び代を持てるようにしていきたいと思えます。

自分に力をつけるために「無理をしなくてはいけない」と思った。自分にできる何かを見つけ、これは誰にも負けないと思えるような技術・能力を身に付けていけるように、これからの学習につなげていきたい。心に響く言葉をありがとうございました。人として看護師として素敵な人になれるように頑張りたいと思えます。

飽きることなく見ることができました。皮膚科に興味があったので、いろいろな病態や症状を詳しく知ることができて良かったです。先生の話聞いて、中身が空のまま年齢だけを重ねていくような大人にはなりたくないし、日々失敗しながら成長して行ける人間でありたいと感じました。本日はありがとうございました。

たくさんの皮膚疾患の事例を出して下さい、内容の深い講演でした。また、臨床での経験なども話して下さい、とてもためになりました。たくさんの言葉も教えて下さい、新しくボキャブラリーが増えて嬉しかったです。皮膚の病気の大変さや辛さが先生の講演で、もっと多くの人に知ってもらえたらなと思えました。ありがとうございました。

有名なマンガやアニメのセリフを用いており、とても分かりやすく勉強になる時間でした。私はいつも直感的に動くのですが、「知識」や「技術」もなく、なにより最後までやり通す「信念」が足りない、危険な“最初のペンギン”でした。これから、生産的知識を意識して学び、「一生半人前」という言葉を胸に、学び、成長し続けたいと思えます。

所々に漫画の絵やセリフが出て来て面白かった。色々な例を出して説明してくれたので興味がわきました。患者・家族が納得できる看護が大切なんだということが分かった。多くの病気の写真を使って説明してくれたので、とても分かりやすかったです。先生の価値観が良く分かりました。私もへこたれずに頑張ろうという気持ちになりました。

今回の講演では、患者との関わりにおいて大事なものを理解する良い経験を得られました。皮膚科の病理学については、興味深く聞かせて頂きました。岸本先生の経験から得た次に活かすための学びや姿勢はとても素晴らしいものだと感じます。同時に私がこれからどう学び、活かすためにはどうすれば良いのかを考える必要があると思えました。印象強く残った言葉がたくさんありました。

とても分かりやすくてよい講演でした。患者さんや家族の話をしっかり聞くという事は、とても大切なことなのだと思います。また、会話をして分かりやすく説明することで患者さんとの信頼関係に繋がるのだと思いました。臨床は「人格」と「人格」のぶつかり合いという言葉が心に残りました。これから先、様々な学びを通して患者さんに役立つ看護師になれるよう日々の努力を重ねていきたいと思えます。ありがとうございました。

最後までやり抜くことが大切であると分かった。自分ももっと頑張ろうと思った。インスリン針誕生の話聞いて、とてもなるほどと思えました。知識があっても問題を解決できなければ意味がないのだと学んだ。これから看護として、人の役に立てるような人になりたいと今回の講演を聞いて思いました。「泥中の蓮花」のようにきれいな花を咲かせるよう前向きに仕事をしていくという話を聞いて、自分もそう思えるように頑張っていきたい。

初めて岸本先生の講演を聞いて楽しかったし、学ぶことが多くありました。問診を適当にやるのではなく、きちんと細かく聞くことで分かることもいっぱいあるので、問診は本当に大切だなと思いました。いくら知識や技術を持っていても、それを患者さんのために活かさなければ意味がないと思いました。私も苦しんでいる患者さんに救いの手を差し出せるようになりたいです。岸本先生の講演を聞くことが出来て良かったです。本当にありがとうございました。

アトピーの話がとても興味深かったです。子供のアトピーは、我慢するのも辛く大変だと思います。アトピー治療の3箇条を守り、子供自身が病気を理解し、自己管理することが大切だと分かりました。「家族が元気になる」ように取り組むという姿勢がとても良いなと思いました。知識や技術を学ぶだけでなく、患者さんの役に立つ看護師になるために、智恵や責任感、人間性も養っていきたいです。今日はお忙しい中、とてもためになるご講演をありがとうございました。

一人の患者さんの病と真剣に向き合い、治したいという思いの強さがとても伝わりました。自分が研究したいことを研究した結果、患者さんの為に役に立ち、信頼を得るという姿に感動しました。また、皮膚の再生についての話を写真を見せながら教えてもらったので、とても印象深かったです。家族が手術に立ち会えることにも驚きました。知識と技術の基盤には、人格と人間性が必要であると聞きました。私は、知識・技術の向上を目標にしていたのですが、人格・人間性を鍛えて行かなければいけないと感じました。この貢献でたくさんの事を学ばせて頂きました。

今回の講演を聞いて、患者さんの気持ちに寄り添った看護をしたいと思った。自分が得た知識を単なる知識とするのではなく、その患者さんにあった看護を考え実行していけるようになりたい。責任感が信頼を生む、という言葉が印象に残った。患者さんから託されているという事を忘れず、失敗から多くを学び、経験を積み重ねて行きたい。また、患者だけでなく、患者の家族のケアも行っていけるようになりたい。事例や体験例が多かったので、想像しやすく、話の内容が分かりやすく、あっという間の講演会だった。今日学んだことを忘れずに、これからの実習や実際に看護師になった時に活かしていきたい。

私はいつも「誰かがやるでしょ」とか「怖い、失敗したくない」とかを考えて尻込みをしていました。しかし、ちょっとでも勇気を出して、逆にみんなを引っ張る感じで一步踏み出そうと思えました。「知行合一」という言葉を初めて聞いたのですが、大切な言葉だと感じました。「無理しなくていいよ」という言葉は、相手を気遣っているようにみえて、頼りにしていない、諦めている気持ちが隠れているのを知りました。今まで、そんな事を考えずに言っていたので、頭のどこかでそういう気持ちがあったのではないかと考えてしまいました。私も、そう言われぬように「すごい無理して」頑張ろうと思いました。今日は、ためになる講演ありがとうございました。

今回の講演を聞いて、私は今まで患者が病院に求めるのは病気の完治だと思っていたが、そうではなく、たとえ完治することができなくても受けた医療に「納得」できることであることを学んだ。病気の治療は患者自身を笑顔にできるだけでなく、患者のことを心配している家族のことも笑顔にできることが分かりました。患者へ自信を持ってケアできるためには、無理をして十分に準備をすることが必要だと分かりました。知っている事を出来る事にするために、第一歩を踏み出さないといけないと学びました。今回の講演会で学んだことをこれからの学習に活かし、中身が空っぽのまま年を取ることがないようにしたいと思います。ありがとうございました。

今回の岸本先生の講演を聞いて、たくさん学びを頂きました。私は、まだ自分の考えや行動に責任を持ち、実践することが出来ません。しかし、それは失敗することを恐れて、一步を踏み出すことが出来なかったからだと思います。しかし、岸本先生のお話を聞いて、学んだことをそのままにするのではなく、まずは学んだことを行動に移す努力をして、時にはアホだけ信用される「最初のペンギン」になりたいと思うようになりました。また、学校での知識や技術をそのまま臨床現場で活かす事ができないと聞き、学んだことを応用して患者の信頼を得られるように、ちょっと無理をしていきたいと思います。先生の好きな「泥中の蓮花」という言葉のように、泥の中でもきれいな花を咲かせられるように日々努力していきたいと思います。ありがとうございました。

今回の講演会に参加させて頂いて、多くのことを学びました。90 分間だけでは短いと感じる程おもしろく興味深かったです。特に印象に残った言葉は、「すごい無理してね！」です。無理なくていいよ、という言葉には、あなたには期待していないという意味が含まれていることが分かりました。また、実際どのような症例があって、どのようなケア・治療をしたかなどをスライドで見せてもらえる機会も今の私達にはなかなかないので、貴重な時間となりました。患者や家族が必要とすることは“完治”ではなく、“納得”であることを学びました。患者さんの痛みは分からなくても、分かるよう理解する努力が必要であり、患者さんの病気と向き合い、患者さんの理解力を上げることが大切であると感じました。今後、看護職を目指す一人の人間として、今回の講演会で学んだ事を活かして、一度やり始めたことは貫き通して勉学に勤めたいです。ありがとうございました。

今回の講演会で印象に残った言葉は 2 つあります。1 つ目は、「勝ってしかるのちに戦う」という言葉です。この分は、必ず勝てると確信が持てるまで準備を行い、確信が持てたら戦うという意味だと知りました。患者さんに処置やケアをする上で、正しい知識や技術を知らなければ患者さんに害や不快を与えてしまうと思うので、きちんと正しい知識や技術を身に付けて行きたいです。さらに身に付けたものを実際に使えるよう様々なシュミレーションを重ね、勇気ある行動をとれたら良いと思います。2 つめは、低年齢の子は痛みよりも恐怖心が大きいということを知りました。子供との接し方が分からなかったので参考になりました。実習などで行ってみたいと思います。また子供(患者)にも分かるように病気について理解してもらうことが大切だということが分かりました。問題を解決でき、患者さんの役に立つ看護師を目指して頑張りたいと思います。

## 二年生

自分の心の中にずっと留めていきたいと思います。

今日の講演を聞いて、「最初のペンギン」になれるよう頑張りたいと思った。

皮膚科の疾患についての学びを深めることが出来ました。少し難しい内容でしたが、事例などがあり、分かりやすかったです。

学院生活の中で大怪我をしないようになっている自分に気付きました。最初のペンギンになれるようにしたいです。ありがとうございました。

勉強、すごく苦手だけど、先生の今日の講演を聞かせていただいて、自分は半人前どころじゃないなと思いました。ご講演ありがとうございました。

今できることを自分なりに考える良い機会となりました。臨床の現場で大いに役立てられるように、学習できる時間を大切にしていきたいです。ありがとうございました。

周りや環境のせいにならないで自分の努力で状況を変えられるようにしたいです。自分の命を一杯使って生き、いい人生にしたいと思えました。先生のお話を聞いて良かったです。

患者さんと家族が求めるものに寄り添うためには、少しずつ無理をして患者の役に立つ行動を起こしていくことが大切だと学びました。偉人やマンガなどの例えがあり、分かりやすいと感じました。ありがとうございました！

地位のためだけでなく、患者のためになれるような学びをしたいと思います。そのためには、無理をしてでも努力をし、患者の納得いく診察の補助やケアを提供できる看護師になりたいです。行動に移す事は不安で怖いけど、それと向き合う力も身に付けたい。

今回の講演を聞いて、まず人として「知識」や「技術」があるだけでなく、「人として」という根本的な部分が大切だということが分かった。人は表面的な部分を見ることが多いが、氷山の海に沈んでいる部分や木の幹のような支えとなる部分を強くしていきたいと思った。

アニメのキャラクターや有名人の言葉を交えながらのお話で、とても分かりやすかったです。心の持ち方や考え方一つで、その後の経過も変わってくるのだと感じました。私も一生半人前で、ほどよく無理して勉強して行きたいです。本日は本当にありがとうございました。

患者さんの治療をしていく中で、大切なのは疾患が治ることではなく、患者さんが納得することだと分かりました。また、患者さんが今まで背負ってきたたくさんの辛いこと、思いを下してあげるのは、大変なことだけど、大切だと分かりました。一生半人前でいたいと思いました。

いろんな所から医療に役立つことに気付いて自分を成長させることが出来るんだと思った。今、私は看護師を目指しているのですが、人として成長することが全ての物事をする上で一番大切だと思いました。今回、学べたことをこれからの人生の中で活かせるようにして行きたいです。

本日の講演会を聞き、医療人を目指している者としての意識の在り方、どう向かって行くべきなのかという事を深く考えさせられました。自らが在りたいと思う存在になるために必要な努力、身に付けるべき知識・技術、様々ありますが、強い信念を持って向かって行くことが大切だと感じました。

「勝ってしかるのちに戦う」は、戦うにあたってたくさんの不安要素や危険な要素を全て亡くしてから戦って勝つという事ですが、これは準備を完璧にするという事と同じだと思います。私は授業で「ケアを行う時に準備が8割だ」と教わりました。準備がしっかりできていればケアの技術も上がると思います。

今まで知識や技術を身に付けることが一番大切だと思っていましたが、それらは表面的なもので生産的な知識にすることが必要だと学ぶことが出来た。患者さんと関わっていく中で、患者さんがまず求めているのは納得であるため、理解してもらえるように分かりやすい説明をする努力が大切なのだと思います。

一歩踏み出してみる勇気を持つ事は大切だと思った。一度踏み出したら引き下がらない不退転の信念も大切。これから実習に行く時に、「自分からやります！」と言える勇気と、一度始めたらしっかりやり切ろうと思う。今日の講演を聞いて、日々の生活の中で出来ることがあるので、毎日無駄にしないようにしたい。

今回の講演で自分の考えに大きく影響を与えて頂きました。しっかりと自分の目標を立てて、たとえ難しいとしても、「無理をして」目標達成のために、小さなドアを一つ一つぐり抜けて、いつの間にか達成出来ているようにして行きたいです。そして更に先へ先へと現状に甘んじず、常に前進して行きたいです。本日はありがとうございました。

患者さんに納得して頂く看護を提供するためには、知識や技術は大事、でもそれは大前提に過ぎない。その陰には人間性や経験値、努力があつてこそ活かせるのだと学びました。また、インプットした知識や技術をただ持っているだけではなく、それを患者さんに合わせてアウトプットしていかななくてはいけないことも学びました。なので、実習などを通して少しずつその訓練をして行きたいです。

患者側が完治を望んではいるが、納得することが大事だということが心に残りました。治すことばかりではなく、患者・家族の苦痛や訴えに目を向け、QOL 向上に向けた援助をして行きたいです。私は教科書や参考書にのっている答えばかり気にしていましたが、知識ばかりがあつても臨床現場では役に立たないため、問題を解決できるよう臨機応変に対応できる力が必要だと学びました。

今回、様々なお言葉を頂き大変勉強になりました。原因自分論という考えにはとても共感でき、学生の今から自分を追い込んで成長したいと思いました。出来ない言い訳をするのではなく、出来る方法を探す人間になりたいです。勉強をしていく上で、勉強だけしかできないアホにならず、人間性も磨いて行きたいです。その過程で、成功が一つや二つあったとしても、その成功に酔うことなく、さらにそれ以上のレベルを目指して行きたいです。

誰も挑戦したことがないことに挑戦することはとても大変なことです、それが患者さんのためになるという思いを持って無茶をすることも大切だと学びました。患者さんは完治よりも納得することが大切で、患者さん一人一人考え方も背景も違うので、決まった看護ではなく、その人に合った看護を提供することを考えなければいけないと感じました。学校で学ぶ知識が全てではないですが、基本も大切なので今出来る事をしっかりとやりたいです。

「最初のペンギン」は子供の為に死を恐れず飛び込んで行く、未知の領域に飛び込む事であり、「知行合一」は知っているだけではなく、その知識を活用し実行することであると分かり、なるほどと思った。そしてそれが実行できることはとても凄い事だと思った。「悲痛さ」を「ユーモア」に帰ることは、実際どの医療においても重要なことだと思う。しかし、それができる患者はなかなかいないと思うので、そういった考えに移行するのを手伝えるのは看護師ではないかと思う。これからは、どんな人に対しても、きちんと話を聞いて、知識・技術を活かして支えていきたい。講演ありがとうございました。

講演ありがとうございました。「最初のペンギン」にとって必要なもの、必要とされる行動、知識や価値観により何が出来るか、どう行うか、何の為にを行うのか、ということを知りやすく説明して頂いたのも、とても勉強になりました。漫画からもためになる言葉がいくつもあり、それが取り上げられていたことが嬉しかったです。失敗を恐れてはいけない。ただ、何も考えずというわけではなく、やるからにはとことん最後まで(自分がやり遂げたいと思ったところまで)完遂することが大切なんだと感じました。今ある命を無駄に磨耗せず、一步一步、歩んで自ら学び蓄え、行動し、将来活かせるような力を身につけて生きたいと思いました。

食品由来のスキンケア製品を小児から使い続けてしまうことで食物アレルギーを発症してしまうことを今回初めて知りました。正しい情報を得て、自分で管理していくことの大切さを知ることができました。ただ年を重ねるだけでは人は成長できず、努力を重ねることで知恵や人間性を身に付けることが出来るのだということを学びました。看護師になるということを目標にするのではなく、患者さんにいかに寄り添い力になれるかということを考えながら、今後はさらに努力したい。病気を



治すことが患者にとって最善とは限らず、患者が「納得」してくれることが大切であり、型にはめられた看護ではなく、その患者にあわせた看護を常に考え、工夫していけるような人間になりたい。

今回、岸本先生の講演を聞いて、「最初のペンギン」の凄さを実感しました。私はいつも何かをする時、自分からではなく誰かが行動を始めるのを待ってから実行していました。その度に分かち動けたらなああと後悔する思いがありました。今回、最初のペンギンになるためには、アホになることが必要だと聞いて、確かにその通りだと思いました。どれだけ知識や勇気があったとしても、失敗を恐れずに行動に移す力がなければ、最初のペンギンになることは出来ないのだと知りました。また、行動して何かを成し遂げられた時、うまくいかなかった陰の部分を誇れるようになることも大切だと知ったので、これから一生半人前だと思いながら少しずつでも自分からの行動を積み重ねて最初のペンギンになれるよう頑張りたいと思いました。

「最初のペンギン」「知行合一」このキーワードの意味を知って、考えさせられました。知識を持っているだけでは何も変わらず、誰かしらその知識を持った人が行動を起こさなければならないと思いました。学生である私たちは、いま知識を得ているところなので、将来はしっかりと患者さんにその知識を提供していきたいと思いました。難しい話のようで、聞いていると意外と「なるほど…」と思える内容でした。臨床の場で、自分がどれだけ基礎から応用へと考え方を転換できるか分かりませんが、これから始まる実習で活かせるようにしたいです。皮膚科はあまり深く考えたことがなく、難しい病気が多いイメージでした。先生の「研究のために研究ではなく、患者さんの役に立つための研究をする」という考え方にとっても感動しました。実績を残すだけでなく、患者さんを一人でも多く助けられるような補助・援助が出来るようになりたいです。

### 卒業生

今回の講演を聞いて、分かりやすく、納得できるところがいくつもありました。貴重なお話、ありがとうございました。

今回の講演の中にマンガの名言が紹介されていたので、私も非常に共感できました。また、とても分かりやすい話で理解することができました。

今の医療の現状は、一人一人の努力によって支えられているのだと感じました。これからは、新人ナースとして日々考えながら生きてゆこうと思います。

私はこれから最初のペンギンになれるように自信を持って生きて行きたいです。国試まで 60 日ですが、一生懸命無理して勉強したいと思います。残り 60 日無理します。ありがとうございました。

私は今後の生き方について悩んでいました。今日のご講演は、解決のヒントになりました。目を背けようとせず全身で突っ込むこともまた答えになると思います。今後も自分と向き合います。本当にありがとうございました。

お忙しい中、講演をして頂き、ありがとうございました。「最初のペンギン」や「知行合一」など、多くの話を聞かせて頂き、とても勉強になりました。今後、岸本先生の話の思い出、患者さんとの関わり方などにつなげて行きたいです。本当にありがとうございました。

岸本先生のこれまでの道のりからの学びを一つ一つ教えて頂き、自分の信念を貫き、成長を続ける姿に感動しました。私は周りに流されるところがあり、いつも後悔してしまいます。今回の講演を機に自分の満足のいく人生を送れるように精進します。

一つの事をやり遂げるという意志を持ち、そのために努力できるよう自分を高めて行きたいと思えます。自ら学ぶ姿勢を忘れずに成長したいです。岸本先生の言葉は考えさせられることが多く、自分の看護観について深く考えることができました。ありがとうございました。

思っていたよりも難しくなく、分かりやすい講演でした。やるべきことを後回しにしたり、疎かにしてしまいがちですが、無理して頑張ろうと思えます。患者さんが納得できる看護をして行きたいです。理解することと実践することは違うので、今まで以上に頑張りたいです。お忙しい中、とても勉強になるお話をして下さいまして、本当にありがとうございました。

一生半人前ということから、自分がこれからも学び続けるという意識が大切だと分かりました。「無理しないで」自分にできる範囲のことをするのは簡単ですが、「無理をして」その先を目指していかなければ成長できないのだと思いました。また、それぞれに選択する自由があり、選択するのが自分だということは、その責任を負うのも自分だということに気付きました。

今回、卒業前に岸本先生のお話を聞くことができ、自分が今すべきことは何かを明確にすることができました。私は、間違っていたら恥かしいと思ったり、環境や人のせいにしてきたり年齢が増えるだけで人として成長できていないなと反省しました。これから社会人として働いて行く中で自分の発言や行動には責任がついてきます。先生の言葉を思い出しながら成長していきたいです。

今日の講演を聞いて、自分の看護観を見直す機会となりました。知識を身に付けるだけではなく、これから看護師としてアウトプットして患者さんに技術を活かせるようにして、さらに人格を磨いていきたいです。今回一番印象に残った言葉は「無常」です。常に同じ状態はないということを心に留め、一人一人の患者さんに合わせた看護を提供できるようにしたいです。今日はお忙しい中ありがとうございました。

岸本先生は自分に厳しく、諦めずに自分の理想に向けて頑張っていることに、とても感激致しました。そのように厳しい中で得たものを、こうして私達に教えて頂き、ありがとうございました。これから患者さん一人一人に合った看護、この患者さんに一番良いケアは何なのかを考えて提供できるようにしたいです。先生のように患者さんに寄り添い、苦痛を緩和できる関わり方をしたいです。ありがとうございました。

これから生きていく上で役に立つ講演でした。看護師として働き始めると、迷うこと、戸惑うことが多くあると思いますが、そこで逃げずに努力することが大切だと思いました。“今”は今しかないので、やる気がなければ中身の無い人生に終わってしまいます。患者さんの為に全力を尽くし、まだまだ出来る事があるのだという思いで、限界を超えるよう“一生半人前”で生きて行きたいです。これからの人生において、とても充実した講演内容でした。ありがとうございました。

私は失敗を恐れてしまい、後からこれをやっておけば良かったと思うことがあります。岸本先生のお話を聞いて、知っているだけで終わらせるのではなく、行動に移し時には最初のペンギンとなり、失敗を繰り返すことが必要だと思いました。少し無理をすることで自分も成長したり、患者さんに関わる上で信頼関係を築くことにつながるのではないかと考えました。一生半人前としてたくさんの方に挑戦し、学び、失敗を繰り返して努力をしたいです。お忙しい中ありがとうございました。

今回の講演を聞かせて頂き、いかに自分が甘えていたのかが分かりました。何か嫌な事、出来そうにない事があれば、無理してまですることなのかを考え、諦めてしまっていた場面が実習中に何度かありました。しかし、私は何になりたいのか！ どういう看護師になりたいのかを考えた時、



無理をしてでもなりたい看護師像がありました。そして、無理をすることで「普通」ではなく、代えの利かない「存在」になれるのだと分かりました。先生から頂いた小児への早期介入を私も実践できるよう無理をして行きたいと思います。

お忙しい中、講演をして頂きありがとうございました。講演の中でお話された言葉に凄く共感することがたくさんありました。患者さんが経験してきたことは患者さんにしか分からないが、医療者はその辛い思いを受け止め理解しようと努力することは出来るという言葉にとても共感しました。これから臨床で働いた時には、患者さんに寄り添い、辛い気持ちを軽減できるように声掛けや関わりをしたいと思いました。知識があってもその知識を生産的知識として、患者さんに看護が出来るように頑張りたいです。ありがとうございました。

今回、岸本先生の講演を聞いて、医療従事者になる上での大切なことに気付くことが出来ました。まず、自分に力をつけることの必要性です。能力がなければ誰も説得できないし、患者さんからも信頼されません。自分に力をつけるためには、確かな知識や技術が必要です。しかし、知識と技術があるだけでは意味がなく、患者さんに実践できる能力があって初めて人の役に立てるのだと感じました。講演の中では、マンガの素敵なセリフや有名人の言葉を用いて説明して下さいだったので凄く分かりやすかったです。お忙しい中、講演して頂きありがとうございました。

実際の例や言葉など分かりやすく、イメージしやすかったです。これから医療者として働いて行く中で、知識・技術は持っていて当たり前なんだと感じました。持っている知識・技術を目の前の患者さんに安全・安楽に行うために、工夫して行くことが大切だと感じました。そのためには、無理しても頑張っ自分の力をつけることが必要だと思いました。現在、国家試験に向けて勉強中ですが、その知識も試験の為にものに留まらないようにしたいです。これから働く上で患者さんや家族に“納得”してもらえよう関わりと行ってきたいです。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

貴重なお話を聞かせて頂き、ありがとうございました。患者さんは「完治」よりも「納得」を求めているのだということを知り、今まで私が考えていたこととは違う角度で考えることができる機会となりました。この3年間で実習や講義を通して学んだ内容とは、また違う学びが、この講演を通して得ることができたので良かったです。また、岸本先生が今までに診た事例などを取り上げながら説明を一つ一つ丁寧に行って下さったので、理解しやすかったです。心に残る言葉もたくさん聞くことが出来たので、それらを忘れずにこれからの看護でも、生活の中でも活かして行きたいと思いました。お忙しい中、ありがとうございました。

自分が一番心に残ったのは、陰と陽の話です。目に見えている業績や成績の下には大きな陰の部分(努力している部分)があるんだということが「なるほど」と思いました。実際、あまり勉強していなさそうな人が良い点を取っているのも、実は陰で凄く努力しているのだと思い直すことが出来ました。医療者になると患者さんの目線で考えられなくなってくと思うので、「納得」してもらうことが大切というのは目からウロコでした。今は必死で医療の知識をインプットしているのですが、それも患者さんの為にならなければ何の意味もなさなくなってしまうと分かりました。臨床に出るからは、その知識を患者さんの為に活かせるよう努力していきたいです。お忙しい中、講演して頂きありがとうございました。

初めにテーマを聞いた時には、何だろう？と疑問でいっぱいだったけれど、お話を聞いているうちに「なるほどなあ」と納得できました。一番心に残っているのは、無理をしないと自分の道や才能は開けないという言葉で、「すごい無理してね」という言葉は、相手に対する期待が込められているからこそその言葉、ということにとっても感動しました。実際自分も、友達などに「無理し過ぎないでね」と相手を思いやっているつもりで言っていたけど、「無理して頑張って」ということも、「あなたに期待しているよ」ということを伝えるためには素敵な言葉だなと思いました。一生半人前という気持ちを一生忘れず、これから頑張っていきたいです。今日は、お忙しいところ私達の為に沢山の素敵な言葉を下さり、ありがとうございました。

今日の講演を聞かせて頂いて、「最初のペンギン」となれるような人間になりたいと思いました。私は今までなかなか一番目に行動することが出来ませんでした。なぜなら失敗するのが怖かったからです。ですが、先生の話聞いて、勇気と不退転の信念を持って、一歩踏み出すことが大切だと感じました。看護師は患者さんと向き合う時間が長いため、患者の状態によっては向き合うことが怖いと感じることもあると思います。しかし、今日の話聞いて、責任感を持って向き合うことで信頼につながる事を学びました。向き合う怖さから逃げずに患者さんの想いを受け止め、患者さんの不安や悩みを「何とかしたい」と思い、患者さん一人一人としっかり向き合い信頼関係を築いていきたいです。お忙しい中ありがとうございました。

今まで誰もやっていなかったことをやろうとした時に、誰もやっていないからと後ずさりしてやらないのではなく挑戦していくことが、患者さんが安心して医療を受けられることにつながるのだと知りました。そのために医療者として知識を得ることが大切ですが、その知識を単なる知識ではなく生産的知識にすることの方がより大切であり、今、学校で学んでいる知識を国家試験までの単なる知識にするのではなく、仕事を始めてからも活かし応用していけるような生産的知識にできるように、臨床に出てからも学び続けて行こうと思いました。岸本先生の今までの経験を踏まえて話を頂き、私の今までの学びと照らし合わせて考えることもできました。また、学校の授業では皮膚科があまりないので、貴重な学びの機会となりました。お忙しい中、講演ありがとうございました。

以前に、通院していた病院を受診すると、いつも同じ事を言われて注意されてしまい、話を聞いてもらえないことから定期的に受診することをやめてしまいました。自分の納得がいかなかったことが原因で治療の継続が出来なかったのだと分かりました。この気付きは、自分が医療従事者になった時は逆の立場になるので、患者さんの不安や努力を傾聴し、治療法や薬などについて納得してもらい理解してもらうことが本当の治療につながるということを学びました。いま学んでいる知識は、ただの知識ではなく臨床にでた際に、自分で納得していることはもちろんですが、患者さんにも納得してもらえるように発信していけるよう患者さんの理解度や個別性に合わせ、応用できるようにしなければならぬと思いました。今回の講演で新しい学びがあり、自分の知識をつなげることが出来ました。本当にありがとうございました。

お忙しい中、ご講演して頂きありがとうございました。学院での皮膚科の勉強は、講義時間は他の科目より少なく、正直、私の皮膚科に対する興味も薄れていました。しかし、今回の講演を通して、様々な皮膚疾患について学習することができました。岸本先生の患者さんに対する「治って欲しい」「笑顔が見たい」という強い思いや熱意を感じる事ができ、素直に知識・技術だけでなく、医療者としての思いやりの心を持った医師だと感じました。疾患だけでなく、医療に対する姿

勢や人生論も含めた内容があり、心に響く言葉が沢山ありました。医療者として、患者さんや家族に対する人間対人間の関わりや退院後、治療後も自宅に帰ってから自己管理できるよう関わっていく重要さが分かりました。スライドの文字、写真、アニメーションの活用は見やすく、説明もとても分かりやすく、あっという間の講演でした。本日は、本当にありがとうございました。

#### 教職員

学生よりも自分の方が先生の話に夢中になりました。仕事では理不尽なことも多いと感じますが、前向きに自分は何ができるかを常に考えて行動して行きます。先生に背中を押してもらえた、エネルギーを頂いた講演でした。ありがとうございました

臨床でも教育の場でも、患者さん、学生と関わっていて感じるのは、どれだけ私とその人と向き合ったか、そして、相手が「納得」できたかでした。チームの中で、納得することが少なく、環境責任にして来たことを振り返りました。「イチロー」や「桜」のように陽は 2%、陰は 98%。その陰の部分が大事であることに嬉しくなり、明日から頑張ろうと思います。まずは余計な飾りで人を判断しない人でありたいです。学生の強みを見逃さないことを少しずつ無理をしながらやっていこうと思います。心に沁みる言葉ばかりでした。ありがとうございました。

本日はありがとうございました。どの内容も共感するお話で、日頃、自分が考えていることの迷いがスッキリした感覚でいます。学生指導の中でも、評価を求め、結果ばかりを追う学生もいますが、そこまで、どのように進めて来たか、取り組んで来たかが大切だと思っています。仕事で使える、心ある技を学生達にも伝えて行けたらいいなと思いました。「納得」してもらえよう、私も学生との関係性を大切に、フィードバックし合いながら、前向きに自分自身も仕事をしていきたいと思っています。人生山あり谷ありますが、自分の進む道にも常に目標を持ち、少しずつ無理をして、苦勞も楽しんで行く姿を学生にも伝えて行こうと思います。癒しの時間をありがとうございました。

ご講演ありがとうございました。先生の講演を聴講して先生の医師としての患者さんへの向き合い方(信頼関係の取り方、気付き力、根拠に基づく対話)が素晴らしいと思いました。患者さんや家族の役に立つ人、問題解決能力を持つ人を今度どう育てていくのが課題だなと感じました。臨床能力をつけられるように、いかに教員として、学生たちを成長させていくために学校内で失敗や苦しい思いをさせていくのかも考えて行きたいと思っています。今の学生は、正解を求めて、自信がない子が多いので、「すごい無理してね」と声をかけつつ苦難にも立ち向かえるように一人一人の学生の気持ちを先生のように大切にしていきたいです。患者さんや家族の治療後の言葉がとても印象的で、治療だけでなく、先生の人間力の高さに感銘しました。ありがとうございました。

御講演ありがとうございました。先生の患者に真に向き合う姿勢、医療者としての信念に感動しました。医療者としての「ほんまもん」の姿とは、患者の訴え、症状に対して「なんとかしてあげたい」できる方法を探して責任を感じながら向き合っていくこと。知識・技術だけではなく、人として立派であるかどうか、人間性を高められるよう努力する姿こそが大切であり、ほんまもんへの道なのではないかと考えさせられました。現在、私は教員として働いています。学生の持っている力に目を向け、学生の心に耳を傾け、学生に向き合っていくことだと思います。学生と共に学んで、立ち止まったらまた学び直して、一步一步成長して行きたいと思っています。先生の講演を聴講したことで、看護観を振り返ることができ、また、自分自身を見つめ直すことができました。今日は、ありがとうございました。

とても貴重な講演をありがとうございました。先生の仕事に対する向き合い方、とても勉強になりました。“出来ない理由を考えるのではなく、出来る方法を考える”医療人として、少しでも無理をして頑張ることは、自分達を必要とされている患者さんに誠実に向き合う事であり、何よりも患者さんに納得してもらえる医療の為に大切なことであると感じました。また、知識や技術があることは当然ですが、「人間性」、人の哀しみを感じる心、患者の思いを受け止める姿勢を大事にして行きたいと思います。私自身も少しずつ無理をしながら、一生半人前という気持ちで、医療人として、人として成長し続けることが出来るように頑張っていきたいです。3年生の国試や就職に向けて頑張っていく追い込みの時期に、先生の講演を聞く事ができて、とても良かったです。ありがとうございました。

先生の講演を聞かせて頂き、改めて自分の今までの行動について考えてみました。私は「勇のみ」であったと思います。自分の経験値で判断して、成功したら良かった。失敗したら次、ようだったと思います。教員となってようやく「智」が少しずつ備わり、勇と智はセットでなければならない事に気付きました。患者さんの信頼関係を構築することは臨床でとても難しいと思います。患者さんの思いをそれだけ知って寄り添い、正確な技術を提供できるかだと思いました。患者さんへ誠意を持って対応できる看護師を育てたいと考えます。治らなくても感謝するのはなぜだろうと考えた時に、患者さんに対する心の伝わり方の違いで感謝だったり、不信感に変化するのだと思います。学生には基礎的な技術を教授しますが、私の根幹の看護を少しずつ伝えたいと思いました。先生のスライドから流れてくる素晴らしい文章に感動し、納得することが沢山あり、本当に勉強になりました。ありがとうございました。